

新宮山彦ぐるーぷ第2240回

### 行仙宿モノレールのエンジン部交換と巡回整備

◇実施日 6月5日(月) 晴

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄 2名

カマハラテック 大久保他1名

行仙宿のモノレールが4月頃からオーバーヒート気味で、一度停止するとなかなか始動しない状態が続いていた。ゴールデンウィークや熊野修験の事前荷揚げや本番は何とか乗り切ったが、5月14日に梶野君が登っている途中でエンジンが止まり、停止した場所にモノレールを残し歩いて行仙宿まで行き、下りでブレーキを使いながら15分かけて林道まで降ろしたそうだ。

2日後の5月16日、沖崎、湯川の2名でモノレール施工会社のカマハラテックを訪問、現状を説明し修理を依頼した。偶然、谷前社長がおられお口添えを頂いた。

5月18日、カマハラテックから「5月20日に行くので同行をお願いする」と電話があり、5月20日、カマハラテックの東海君がユニック付4トン車で、当方から沖崎、梶野の2名が出向いた。エンジンの代車取替は40分弱で終了した。

そして本日、修理を終えた従来の機器と代車の取替の為カマハラテック2名と沖崎、梶野が登山口に出向いた。

前回の交換作業と手順は同じで、今回はカマハラテックからは2名なので我々の出番は無く、ただ見守るだけだった。交換は30分程

で完了、故障の原因などを尋ねてみたが、詳しくは知らないようだった。



チェーンソーを降ろす

本日の参加者

終点予定地にポール

エンジン部交換作業

カマハラテックのトラックが帰っていった後、二人で行仙宿に向かう。梶野君は先日持ち降りして整備したチェーンソーを倉庫に収納。トイレの使用済みペーパーを焼却し、残灰の中の不燃物を回収し持ち降ろす準備を、沖崎は管理棟の整理や便槽汲み出し（約30杯）などを行った。

下山途中、モノレール延伸に伴う補給路付け替えの為に丸太や杭、道具類のデポ状況を調べて帰路に着いた。

（記；沖崎）

### 行動タイム

09：40 補給路登山口 10：20→11：08 行仙宿 13：02→13：53 補給路登山口